

第3回 府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）推進協議会会議録（要旨）

開催日時 令和5年1月26日（木）午前10時～午前11時55分

開催場所 府中市役所北庁舎3階第6会議室

出席委員 8名（50音順）

伊浪委員、榎本委員、金子委員、小島委員、高橋委員、中島副会長、藤江会長、山口委員

欠席委員 なし

出席説明員等

佐々木政策経営部行政改革担当参事兼行政経営課長、

大木行政経営課長補佐、橋本行政経営課主査

傍聴者 なし

議事日程

- 1 開会
- 2 確認事項
第2回府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）推進協議会会議録（要旨）について
- 3 審議事項
府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）に設定された事務事業の指標について
- 4 その他

会議録（要旨）

藤江会長 ただいまから、第3回府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）推進協議会をはじめます。事務局から本日の委員の出席状況を報告してください。

事務局 出席状況を報告します。
（出席状況及び会議有効成立の報告）

藤江会長 次に、事務局から本日の傍聴希望の状況を報告してください。

事務局 本日、傍聴希望者はいません。

藤江会長 次に、事務局から本日の配布資料を説明してください。

事務局 資料は、本日机上に配布している4点となります。
（配布資料の確認）

確認事項

第2回府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）推進協議会会議録（要旨）について

藤江会長 前回の第2回協議会の会議録が資料3-1として事前に郵送されましたが、何点か修正等の意見があったと事務局から報告を受けています。事務局から資料の説明をしてください。

事務局 （参考資料に基づき説明）

藤江会長 これらの点についてよろしいでしょうか。そのほか、修正すべき点や気になる箇所はありますか。

（挙手及び発言なし）

藤江会長 それでは、指摘のあった点を修正した上で、資料のとおり第2回協議会会議録の内容を確定したいと思いますので、事務局は速やかに公開の手続を行ってください。

審議事項

府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）に設定された事務事業の指標について

藤江会長 まず、事務局から資料の説明をしてください。

事務局 配布資料3 - 2、参考資料を用いて説明します。
（重点プロジェクト 事務事業への意見等に関する対応案について説明）

藤江会長 事務局から資料に基づく説明がありました。

資料3 - 2は、前回の第2回協議会及びその後の意見照会において、重点プロジェクトに設定された事務事業の指標に関する皆さんからの意見について、担当課と事務局が調整の上、作成した対応案です。多くの事務事業に補足説明や参考資料が追加されていますが、大きく分けると、全体に関わる大枠の部分と個別の項目の2つに分けられますので、はじめに全体に関わる部分から確認していきたいと思います。

まず、アウトカム指標の設定について、前回の協議会において、本協議会ではアウトプット指標を用いて評価を行う方針としていますが、いくつかの事業に対しては、事業の実施によって得られる成果であるアウトカム指標の設定に関する意見が出ています。

具体的には、18（教育相談・教育支援事業）、24（中心市街地活性化ビジョン推進事業）、28（府中基地跡地留保地周辺地区まちづくり事業）、29（トップチーム等連携事業）及び31（府中の森芸術劇場管理運営事業）です。

対応として、意見をいただいている事業については参考指標としてアウトカム指標を設定する、または、指標としての設定は行わずに必要な応じて評価に当たっての状況把握として情報を共有する方法が考えられます。

中島副会長 会長から二つの対応案の提示があったが、この協議会でまずやるべきことは、次年度以降の評価に向けてアウトプット指標の妥当性をしっかりと協議することである。その中で、委員の皆さんがとても細かくアウトプット指標の内容を確認してくれた結果として、アウトカムの部分も気になっているのだと思う。

私の考えとしては、アウトカム指標は非常に大事な部分だが、これを正式に指標として設定するとなると他の全ての事業に関しても再検証する必要があるので、今回はあくまでもアウトプット指標で評価を行い、その中でアウトプット指標だけだと不十分な事業は、その評価に当たっての情報把握としてアウトカムに関する情報を共有する形がいいと思う。

藤江会長 アウトカム指標の設定は行わず、評価作業の補足として情報を共有するという意見でした。

小島委員 副会長の意見に賛同する。事務事業によってはアウトカムも見た方がよいものもあると思うので、指標を設定しないとしても情報共有してほしい。

金子委員 副会長の意見に賛同する。

山口委員 副会長の意見に賛同する。ただし、教育相談・教育支援事業の事業内容と指標項目については、整理した方がいいと思う。

事業内容の前文「～相談・支援体制の充実を図ります。」までは、今回の説明で分かったが、後文の不登校対策のアウトカム指標については、「不登校児童・生徒の出現率」の考え方が分からない。不登校特例校の設置の目的が不登校の子どもたちの居場所を作ることなのか、それともそこで安定的に過ごすことによって元気を回復して元の在籍校に戻すことなのか、それによって指標設定の考え方が変わってくるので、もう少し事業の方向性が分かる説明がほしい。

高橋委員 副会長の意見に賛同する。アウトカムについては、数値でなくてもアウトプットの理解に役立つような文章などが別記されるとよいと思う。

榎本委員 副会長の意見に賛同する。指標として数値で表すことの難しさも感じるので、文章などで担当課と状況把握を共有していくことが大事だと思う。

伊浪委員 副会長の意見に賛同する。

藤江会長 山口委員から教育相談・教育支援事業の後文の事業内容の詳細説明がほしいとの意見がありましたので、事務局は確認をお願いします。

それでは、結論としてはアウトプット指標で統一し、アウトカム指標は設定しないが、評価に当たり必要に応じて情報を共有することとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

藤江会長 次に、全体に関わる二つ目として指標が設定されていない事業の取り扱いですが、資料3ページの23（けやき並木周辺整備事業）27（総合体育館移転関連事業）の2つの事業については、前回の協議会において、できれば数値で示してほしいと意見がありましたが、担当課は数値で示すことは困難であるものと回答しています。用地取得のような交渉など様々な事情により難しい面もあるかと思いますが、客観的な評価を行う本協議会としては、可能な限り数値で示さないとは評価ができないと思います。

一つの案として、次回2月の協議会に担当課に出席してもらって説明してもらおう、または、日程の都合で協議会当日が難しければ、別日を設けて担当委員と正副会長と事務局に説明してもらおうことが必要だと思えますが、よろしいでしょうか。

（異議なし）

藤江会長 それでは、担当課に会議に出席してもらおうか、難しい場合は個別に機会を設けることにしたいと思います。

次に、個別の項目の確認に移ります。まず、資料4ページの府中の森芸術劇場管理運営事業について、担当課から適切なアウトプット指標があればご提示いただきたいと要望がありますが、担当の高橋委員から具体的な指標のイメージなど補足をお願いします。

高橋委員 府中の森芸術劇場の維持管理・運営の詳細は分からないが、恐らくO&M（オペレーションとメンテナンス）契約を締結し、その内容が年間何十日のような形で仕様に記してあると思うので、それを指標とする。また、老朽化が進んでいると思うので、施設の欠陥率や修繕回数を指標とする。そのほか、アセットマネジメントの国際規格ISO55000や、水道の国際規格ISO/TC224なども参考になると思う。

藤江会長 担当課に伝え、担当課からの回答を高橋委員と事務局で調整した内容を正副会長で確認していきたいと思えます。

そのほか個別の項目について、意見などがあればお願いします。

中島副会長 資料の意見への対応内容で、気になる点を発言させてもらうが、協議会からの問いかけや提案に対する回答が不十分なものがある。例えば、文化センター老朽化対策事業では、委員意見で事業内容と指標の整合性を取るために指標を協議回数に変更することを提案しているが、その回答が、「協議会は令和4年度で終了したため、協議回数を指

標にするのは困難と考えています。」のみである。事業内容を読むと後半の「文化センターあり方検討協議会において今後の文化センターに必要な機能等について協議します。」が主たる内容なので、この部分に関する指標の設定ができないのであれば、文章を削除するなどの対応もあわせて行うべきではないか。

藤江会長 確認ですが、事務事業内容は総合計画に載っている文章がそのまま掲載されているとの認識でいいですか。

事務局 お見込みのとおりです。

中島副会長 前提の確認だが、事務事業内容の修正は可能なのか。例えば、文化センターの老朽化対策事業だと「検討を進める中で、」を「検討を進めます。」と切って後半を削除する。それができないのであれば、やはりアウトプット指標で調整する方向で検討するしかないと思うので、その対応ができる、できないによって対応の方針が変わってくる。

事務局 会長の発言のとおり、事務事業内容は総合計画に載っているもので、確定しているものになります。評価部分を明確にするため、評価対象の文章にフォーカスを絞る作業については、協議会として決定いただき担当課と調整することは可能です。

藤江会長 この協議会の中で決定すれば、評価部分を絞り込むことはできるとの説明です。ただし、取り上げない部分についても、どのようなスケジュールで取り組んでいるかを共有した上での判断が必要だと思います。文化センター老朽化対策事業を例に挙げると、協議会が終了したのであれば報告書があると思うので、その内容の共有や今後の取組予定を把握した上で、指標の設定や事務事業内容の修正の検討が必要です。

その辺りの判断は次回の協議会で議論できるので、特に削除する部分については、必要な情報を共有した上で確認していきたいと思います。

山口委員 教育相談・教育支援事業の意見への対応内容で、「特例校については、教育センターの移転に合わせ、新教育センター内に設置します。」とあるので、あくまでも通所施設として、そこに通うことも登校とみなす位置づけであることが推察されるが、やはり総合計画に設定されているアウトカム指標の考え方や、事務事業の内容、目的をしっかりと把握しないとアウトプット指標を設定できない。

中島副会長 文言の削除について、文化センターの老朽化対策事業は、

協議回数を指標にすることはできないので、これに関しては整合性を保つためには後半部分を削除する方法しかないと思う。

しかし、教育相談・教育支援事業は、後半部分の指標設定は努力すればできると思うので、事務局はもう一度担当課と調整してもらい、難しければアウトカムに関する情報を共有してもらいたい。

藤江会長 現状では意見への対応として納得できないものもありますし、今後の評価作業に当たって課題として残るので、引き続き事務局は担当課と調整してもらいたいと思います。

伊浪委員 教育相談・教育支援事業について、「不登校特例校の設置を進めるほか」の部分に指標を追記するのであれば、他の項目でもあったように検討会議の実施回数などが考えられると思う。また、可能であれば次回の協議会に担当課にも出席してもらいたいが、難しければ追加資料を提供してもらいたい。

榎本委員 文化センターや地域のコミュニティ活動の中で私が実感していることだが、昔からの決まりを守ることにこだわりすぎて、今の時代に合わなくなってきていることも変わらずに残っているので、もっと柔軟にまちづくりができればいいと感じている。

藤江会長 私も文化センターの老朽化対策事業はとても大切な事業だと思っています。老朽化対策の元となる公共施設マネジメント推進プランは地域コミュニティ課とは別の課が担当であり、地域コミュニティ課で協議回数を指標にできないのであれば、認知度は低いものの財政的にも非常に重要な公共施設マネジメント推進プラン自体の進捗管理を評価対象とすることも考えられますが、いかがでしょうか。

事務局 公共施設マネジメント推進プランは、建築施設課が文化センターなどの各施設担当課と調整しながら進めていく計画で、プラン自体の所管は建築施設課となります。

委員の皆さんからの発言がない事業は違和感がないものと思いますので、今回意見が出たもの、また元々意見が出ていたものについては、改めて整合性を確認し、正副副会長とも相談しながら次回の協議会でその内容や理由を確認してもらおう流れを想定しています。

藤江会長 文化センターのソフト面のあり方の検討は地域コミュニティ課ですが、施設のハード面は建築関係部署ということでやはり大事な部分なので、必要な情報を共有してもらいたいと思います。

それでは、本日結論が出なかった部分は、次回の協議会で審議した上で、決定していきたいと思います。

また、次回は今年度最後の協議会となりますので、これまでの検討結果のとりまとめを行い、来年度からの実際の評価につなげていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

他に意見や質問はないようですが、事務局からは何かありますか。

事務局 次回開催日について連絡します。

(2月28日(火)午前10時から、北庁舎3階第1会議室)

藤江会長 それでは、次回は2月28日(火)午前10時から開催することとし、本日はこれで散会とします。

以上